



対象国環境分野における開発ニーズ(課題)

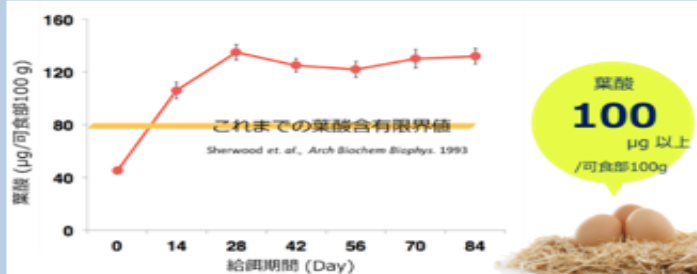
- ・ 女性の妊娠期の葉酸不足は、乳児に二分脊椎症という脊髄骨の形成不全の発症率を高める。ベトナムではこの発症率が高く、適切な葉酸補給法が必要。
- ・ 国民の栄養改善を先導する国立栄養研究所には葉酸の分析技術がなく、国内の葉酸インベントリーができないため、具体策を立てにくい。

提案製品・技術

- ・ 製品は養鶏配合飼料のファーマバイオミックス(PBM)及び葉酸の分析技術。PBMを通常飼料に少し添加し養鶏することで、卵中の葉酸含有量が安定的に増加する。
- ・ 葉酸たまごの葉酸は、市販サプリや葉物野菜よりも調理工程での損失が少なく、人体への吸収が高い。

本事業の内容

- ・ 契約期間: 2021年3月~2022年3月(13ヶ月)
- ・ 対象国・地域: ベトナム国ハノイ市、ホーチミン市、それらの近郊の省
- ・ カウンターパート機関: ベトナム国保健省国立栄養研究所
- ・ 案件概要: 提案企業は特殊な養鶏配合飼料を養鶏業者に販売することで、鶏卵の葉酸含有量を高め、妊婦や庶民に不足している葉酸摂取量を増やし、重大疾病の予防に役立てる。



PBM給餌後の鶏卵中の葉酸含有量の推移

開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・ 直接の顧客は養鶏業者・会社であり、間接的には鶏卵を販売する小売店とエンドユーザーの消費者。
- ・ 国立栄養研究所と協力して、葉酸の重要性の認知を社会的に広め、卵という日常食生活の改善で栄養改善が図られることを保健関係者や消費者に普及する。
- ・ 拡大し始めている特殊卵商品の1つとして、葉酸たまごの魅力と特質を養鶏業者とともに小売店に普及する。

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・ 母子の栄養改善と二分脊椎症の低減が図られ、健全な乳児の育成が増進される。
- ・ 国立栄養研究所が葉酸に関する知見と技術を飛躍的に向上し、ベトナム国内の葉酸のインベントリー調査を可能にし、葉酸不足解消の具体策の提言を可能にする。
- ・ 特殊卵の需要が増大することで、鶏卵生産者と小売店で新規市場の拡大が図られる。